

普通船員給料標準調

(未定稿)

日本海員組合長

檜 崎 猪 太 郎

海運を以て立國の生命とする我國の海員が有力なる船會社に勤めて居るものを除くの外悉く悲惨極まる境遇にあるので其真相を明かにして諒解を求むべく曩に普通船員生活標準調を未定稿の儘にて高覧に供して置きました處幸に各方面にて研究の資料となつて居ることを傳へ聞きまして誠に心強く思ひまして感謝して居ります夫れに今又普通船員の給料標準調を供覽することは現在の海運が不況のドン底に陥つて居る折柄如何に困難なる經濟状態にあるかを百も承知せる本組合としては餘り厚釜しきことと思ひます、けれども之には實際捨て置き難き心配の種子があるからであり、且之を組合の心配だけに留めて置くことが海員の爲めには勿論我海運の爲めにも決して忠實なる所以にあらざること自覺したからであります、夫れは多くの海員を此儘何時までも此悲惨なる状態に放任して置いたならば其結果が果してドウなるかと言ふことに付一部の人々の間には或は同盟罷業になりはせぬかご心配して其曉は繋船するの外なし杯の説もあるやに噂されて居るやにも聞て居ります、尤も同盟罷業なるものは事實に